

第 3 期 牟岐町総合戦略

令和 7 年 3 月

目 次

1	基本的な考え方	1
1)	策定の主旨	1
2)	位置づけ	1
3)	進捗管理のしくみ	1
4)	計画期間	1
2	基本的事項	2
1)	基本方針	2
2)	基本目標	2
3	牟岐町の地方創生に向けた施策体系	3
4	持続可能な社会の実現に向けた取組	5
5	第1期総合戦略の検証と現状の将来人口推計について	6

基本目標（1）	牟岐町への新しい人の流れをつくる	7
1-1:	交流の促進と移住への展開	7
1-2:	定住の促進	8
1-3:	新規就業（農業・林業）の支援による移住促進	9
1-4:	「関係人口」創出・拡大	10
1-5:	地方の暮らしの情報発信の強化	11
1-6:	大学づくり等による地域における若者の修学・就業	12
1-7:	地域おこし協力隊の拡充	12
1-8:	高校生への移住支援	13

基本目標（2）	牟岐町で安心して働ける雇用場をつくり、これを支える人材をつくる	14
2-1:	中小企業が活躍できるビジネス環境の創出	14
2-2:	もうかる農林水産業の推進	16
2-3:	牟岐ブランドの確立	17
2-4:	観光の振興と産業としての確立	18
2-5:	教育機関・研究機関との連携による新たな仕事づくり	20
2-6:	「海外から稼ぐ」地方創生	21
2-7:	新しい産業の社会的課題に対応する地域経済社会システムの構築	21
2-8:	観光地域づくり・ブランディング等の推進	22
2-9:	地方創生を担う人材・組織の育成	23

基本目標（3）	結婚・出産・子育ての希望を叶え、誰もが活躍できる地域社会をつくる	24
3-1:	出会いの機会創出	24
3-2:	子育て支援・保育サービスの強化	25

3-3：若い世代の雇用拡大	26
3-4：仕事と子育てが両立する働き方の実現	26
3-5：生涯活躍のまちの推進	27
3-6：女性、高齢者、障がい者、外国人等が共生するまちづくり	27

基本目標（４） 時代にあった地域をつくり、安全・安心な暮らしを 守るとともに、地域と地域の連携をつくる	28
4-1：牟岐町の抱える課題の解決への挑戦	28
4-2：多様な人材が活躍する地域づくり	29
4-3：健やかに暮らせるまちづくり（保養と健康のまちづくり）	30
4-4：持続可能なまちづくり	31
4-5：Society5.0の実現に向けた技術の活用	32
4-6：健康まちづくりの推進	32
4-7：地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり	33
4-8：コンパクト・プラス・ネットワークの本格的推進	33
4-9：地域交通を取り巻く課題への対応	33
4-10：集落生活圏維持のため「小さな拠点」及び地域運営組織の形成	34
4 総合戦略の推進にあたって	35
1）人材育成を核とした取組の展開	35
2）牟岐町ふるさと会の取組の展開	36
3）協働による総合戦略の推進	37
4）地域間連携の強化	37
5）検証組織による目標達成状況の検証	37

1 基本的な考え方

1) 策定の主旨

わが国の人口は 2008（平成 20）年をピークに減少に転じ、今後、急速に人口減少と少子高齢化が進むと予測されています。これに対応するため、国においては、人口減少・少子高齢化の課題を克服し、「地方創生」を推進するため、2014 年 11 月に「まち・ひと・しごと創生法」（以下、法という）を施行しました。そして同年 12 月には「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」、「まち・ひと・しごと総合戦略」が策定され、地方公共団体においても地方版の総合戦略の策定が求められました。

牟岐町においても、2016 年に牟岐町版の「人口ビジョン」と「総合戦略」をとりまとめ、国や徳島県と連携しながら、「地方創生」を推進してきました。

国は長期ビジョン及び総合戦略の策定から 4 年が経過したことから、事業効果の検証を行い、今後、5 年間の基本目標や施策をまとめた第 2 期『総合戦略』を策定し、地方創生のより一層の充実、強化に取り組んでいくことを示しました。

このことにより、牟岐町においても 2016 年以降の状況変化等も踏まえ、第 3 期『総合戦略』と人口ビジョンの改訂を行い人口減少に対する地域活動の維持発展を図るため、町と住民が総力を挙げて取組を進めることとします。

2) 位置づけ

牟岐町総合戦略は、牟岐町人口ビジョンを踏まえた上で、法に基づき、牟岐町の「まち・ひと・しごとの創生」に向け、2015（平成 27）年度を初年度とする今後 5 か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた第 1 期総合戦略の枠組みを維持しながら、新たな視点で政策を追加し、2020（令和 2）年に第 2 期総合戦略を策定し、2025（令和 7）年からの 5 か年の計画として第 3 期総合戦略として施策をまとめたものです。

また、牟岐町総合戦略の策定にあたっては、町政の運営指針である「牟岐町総合計画」との整合を図ります。

3) 進捗管理のしくみ

牟岐町総合戦略においては、国や徳島県の総合戦略における政策分野を踏まえ、「4 つの基本目標」を掲げるとともに、基本目標ごとに 5 年後の目標を設定します。

また、基本目標の達成に向けて、施策の基本的方向を示し、具体的な施策を位置付け、具体的な施策ごとに客観的な「重要業績評価指標（KPI : Key Performance Indicator）」を設定します。

設定した重要業績評価指標等をもとに、実施した施策・事業の効果を検証し、計画の改定も含めた改善を行う仕組みとして、「PDCA サイクル」を確立します。

4) 計画期間

第 3 期牟岐町総合戦略の対象期間は、2025（令和 7）年度から 2029（令和 11）年度までの 5 か年とします。

2 基本的事項

1) 基本方針

社人研に準拠した推計によると、本町の人口は 2060（令和 42）年には 924 人にまで減少すると予測されています。一方で、人口減少は全国的な課題であり、ある程度の人口減少は避けられない状況といえます。

総合戦略の策定にあたっては、社人研で推計されるような加速度的な人口減少に歯止めをかけるため、人口構造を安定させることにより長期的な視点での人口維持を目指し、牟岐町が将来にわたって活力をもち輝き続けられるような施策を実施していくこととします。

そのため、牟岐町人口ビジョンを踏まえ「2060（令和 42）年の人口展望“1,200 人～1,500 人” 実現に向けた施策の推進」を基本的な考え方として第 3 期牟岐町総合戦略を策定します。

2060（令和 42）年の人口展望 “1,200 人～1,500 人” 実現に向けた施策の推進

2) 基本目標

国や徳島県の総合戦略における政策分野を踏まえ、牟岐町の実情に合わせて「4 つの基本目標」を掲げるとともに、基本目標ごとに 5 年後の目標を設定します。

また、基本目標を達成するため、施策の基本的方向と具体的な施策を位置付け、施策ごとに KPI を設定します。

基本目標 1：牟岐町への新しい人の流れをつくる

様々な交流事業や情報発信に取り組むことにより、本町の知名度・認知度アップを図り、移住・定住支援につなげていきます。また、牟岐町とつながる関係人口の拡大の取組を行い地域課題解決の支援が出来る仕組み整備を図ります。

基本目標 2：牟岐町で安心して働ける雇用の場をつくり、これを支える人材をつくる

地域イノベーションを促進し若い世代の起業、スモールビジネスの起業支援を推進します。また、次世代技術である S o c i e t y 5.0 を活用した産業創出を目指す。地域の個性と資源を活かし、「牟岐ブランド」の確立を図り、「しごと」と「ひと」の好循環を目指します。

基本目標 3：結婚・出産・子育ての希望を叶え、誰もが活躍できる地域社会をつくる

若い世代のニーズを把握しながら、結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目の無い支援を行います。また子育て支援・子育てと仕事の両立支援等に取り組む、夫婦が希望する子育て環境の実現を目指します。

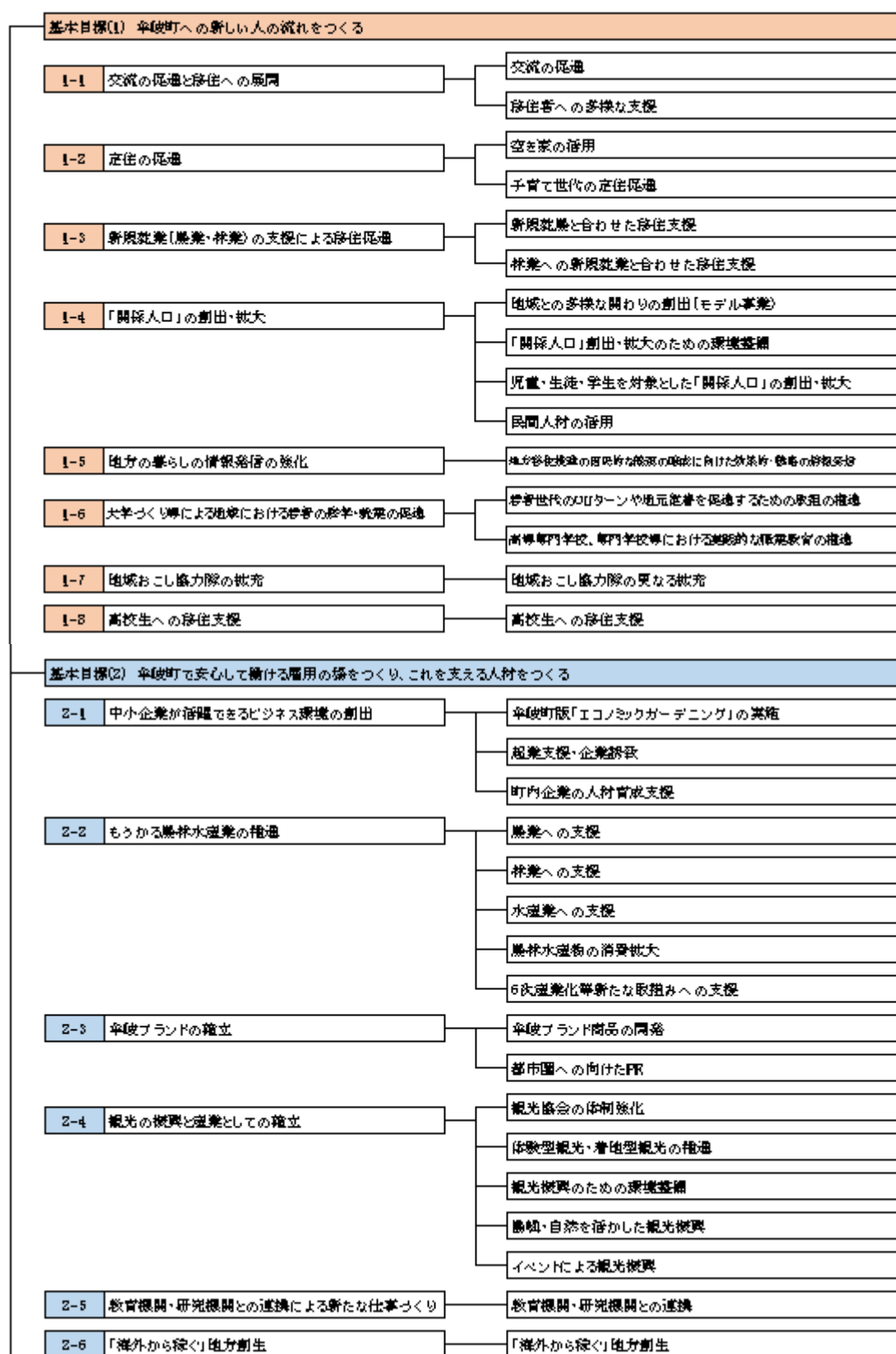
基本目標 4：時代にあった地域をつくり、安全・安心な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携をつくる

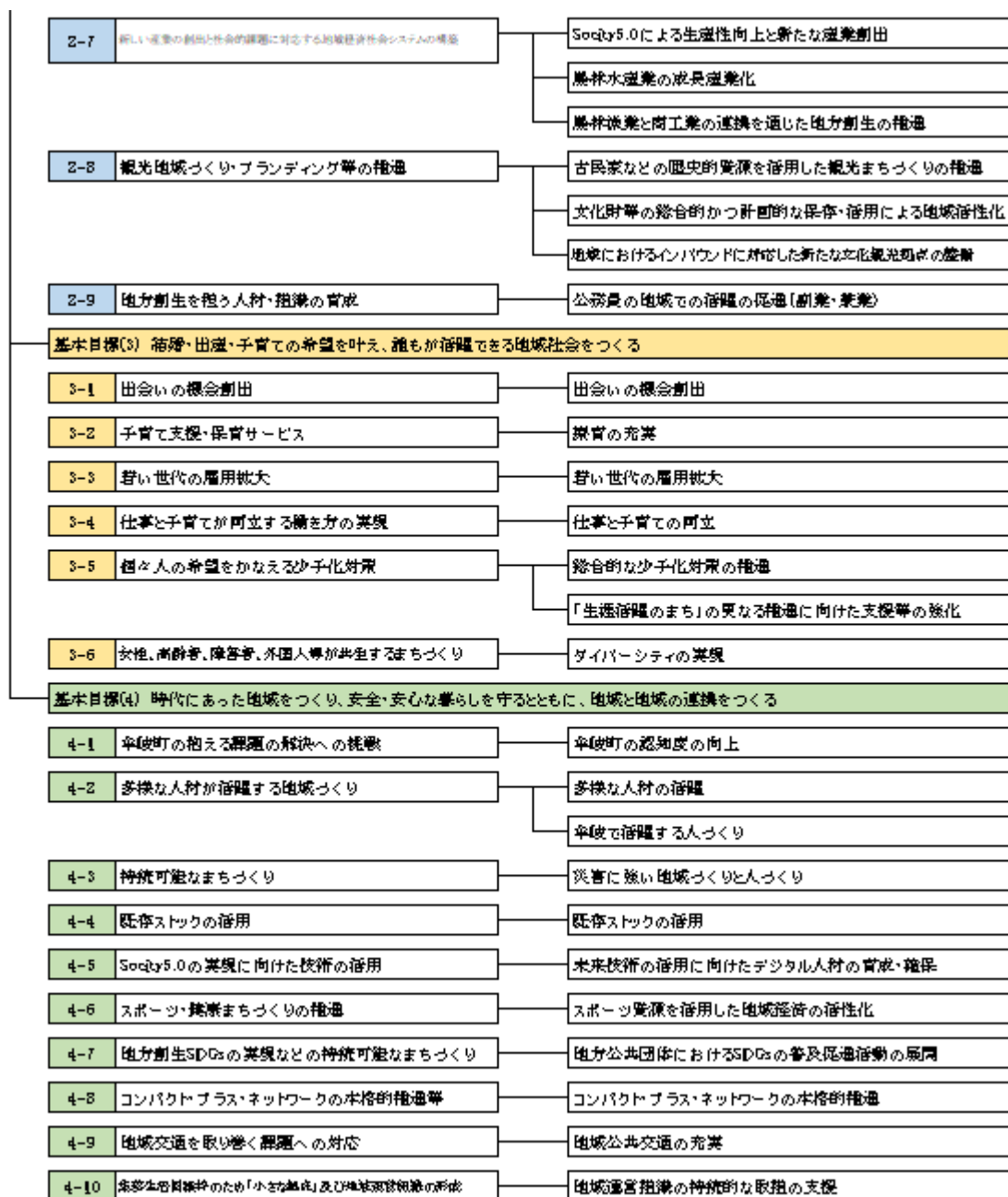
医療・介護体制の強化や防災対策の強化、地域公共交通の充実等により、誰もが住み続けたいと思える地域づくりを目指します。また、スポーツ、健康まちづくりを推進し健康増進と地域経済の活性化に取り組みます。

本町の抱える課題解決に向けて、行政だけでなく、住民一人ひとりが主体的に取り組める環境づくりを目指します。

3 牟岐町の地方創生に向けた施策体系

3 牟岐町の地方創生に向けた施策体系





■牟岐町総合戦略 施策体系図

4 持続可能な社会の実現に向けた取組

SDGs（持続可能な開発目標）とは、「Sustainable Development Goals」の略称であり、平成 27 年 9 月の国連サミットで採択された令和 12 年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標のことで、17 のゴール（目標）で構成されています。



SDGs は、誰もが安心して暮らせる地域の実現を目指すもので、牟岐町総合戦略で掲げる将来像を実現するための“持続可能なまちづくり”の目標としても捉えることができます。

そのため、本町では、総合戦略の基本計画の各分野別施策と SDGs の 17 の目標との関連を示し、各施策の推進を図ることにより、SDGs の達成につなげていきます。

今後は総合戦略の下、SDGs の達成に向けた世界を視野に入れた牟岐町ならではの取り組みを進めていきます。

5 第1期総合戦略の検証と現状の将来人口推計について

1. 第1期総合戦略の検証

4つの基本目標を柱に人口減少に取り組みました。第1期において、比較的高く KPI が設定されたこともあり、達成率は低くなっているが、一定の効果が見込まれました。しかしながら、人口減少を抑制するには至っていない現状です。

基本目標（1）牟岐町への新しいひとの流れをつくる

基本目標（2）牟岐町で安心して働ける雇用の場をつくる

基本目標（3）結婚・出産・子育ての希望がかなう環境をつくる

基本目標（4）時代にあった住み続けたいと思える地域をつくる

基本目標	KPI 項目	達成	未達成	未実施	達成率
(1)	13	5	8	0	38.5%
(2)	40	13	14	13	32.5%
(3)	12	5	4	3	41.7%
(4)	22	6	12	4	27.3%
合計	87	29	38	20	33.3%

2. 現状における国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計

第1期（H28.3年）策定時③において、2040（令和22）年における推計人口が2,333人であり、第2期（R2.3）策定時②において、2040（令和22）年における推計人口が1,948人でした。単純に比較（②－③）すると、推計より385人少なく、人口減少に改善は見られなかったです。

令和5年度公表された①では、2040（令和22）年における推計人口が2,011人であり、比較（①－②）すると、推計より63人多く、人口減少に改善が見られました。

内訳をみると、生産年齢人口が13名、老年人口が66名増加したが、年少人口が16人減少し、依然として人口減少傾向が続くことが予想されます。

	1980年 （昭和55年）	1985年 （昭和60年）	1990年 （平成2年）	1995年 （平成7年）	2000年 （平成12年）	2005年 （平成17年）	2010年 （平成22年）	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2025年 （令和7年）	2030年 （令和12年）	2035年 （令和17年）	2040年 （令和22年）
① 今回 総人口 （人）2020国勢 調査を基準に社 人研で推計した 人口	7,697	7,341	6,798	6,251	5,755	5,391	4,826	4,259	3,743	3,249	2,792	2,386	2,011
② 前回 総人口 （人）2015国勢 調査を基準に社 人研で推計した 人口	7,697	7,341	6,798	6,251	5,755	5,391	4,826	4,259	3,724	3,228	2,769	2,340	1,948
③ 前々回 総人口 （人）2010国勢 調査を基準に社 人研で推計した 人口	7,697	7,341	6,798	6,251	5,755	5,391	4,826	4,337	3,886	3,454	3,053	2,674	2,333

基本目標（１） 牟岐町への新しい人の流れをつくる

数値目標 社会減の克服：５年後に±０人 関係人口 ４００人（５年度）

《基本的方向》

- ・本町はこれまで若い世代を中心とした転出超過が続き、大幅な人口減少が続いていました。また、近年は３０歳代以降の子育て世代においても転出超過の傾向が強くなってきています。この流れに歯止めをかけるため、本町の強みである豊かな観光資源を活かし様々な交流事業や情報発信に取り組み、これを通して本町の知名度やイメージアップを図り、移住・定住支援へつなげていきます。
- ・牟岐町内外で、交流イベントなど通じて、牟岐町とつながる仲間「関係人口」が出来る取組を推進します。
- ・地域の空き家を資源と捉え、空き家の管理体制を強化し、積極的に活用を図るなど、移住・定住者の受入環境を整備します。
- ・人口減少対策には子育て世代の転出抑制が重要となることから、この世代の定住促進に重点を置いた取組を検討していきます。
- ・若い世代が安心して働き、住み続けられる環境づくりに向けて、本町の基幹産業である農林水産業への就業と合せた移住・定住促進策を推進します。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

1-1：交流の促進と移住への展開



■交流の促進

- ・体験型観光等の推進により、都市部住民や県外・町外住民との交流を促進し、本町への移住・定住のきっかけづくりにつなげていきます。
- ・体験型観光や民泊事業のさらなる推進、受入れ体制の強化により、本町の魅力を町外に発信するとともに、町内住民の本町への誇りや愛着を育み、将来的な定住者の増加を目指します。
- ・多様な学びの場、学びの機会を通して、多様な価値観をもった町内外の若者の交流を促進し、主体性、協調性、多様性を養い、創造的な行動ができるスキルを持った人材を育成することにより、直面する地域課題への糸口やまちづくりの活性化を考え実践できる地域の担い手の確保を目指します。
- ・町内外から牟岐町に関わるコミュニティ団体（関係人口団体）を組織し、地域課題解決に取り組みます。
- ・ふるさとから離れて暮らす牟岐町出身者や牟岐につながりのある方の牟岐ふるさと会入会を促進し、交流と親睦を図り、ふるさと牟岐町への郷土愛を育み、お互いの経済、文化

の発展を通して牟岐町の活性化を推進します。

■移住者への多様な支援

- ・様々な移住に関するニーズに的確に対応するために、情報発信・相談体制を強化する。
- ・徳島県及び市町連携による『『みなみ阿波』若者創生協議会』により、若者にターゲットを絞った戦略的な移住・定住施策を推進します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○体験型観光（南阿波よくばり体験）の拡大	・県外からの修学旅行生の受入れ等による交流人口の拡大を目指し、南阿波よくばり体験観光事業のさらなる推進を図ります。 ・民泊事業の受入家庭の確保・育成に取り組みます。 ・徳島県南部で広域的な組織運営により、観光振興を推進します。
○若者の人材循環を起点にしたまちづくりの実施	・多様な価値観を持った若者が活動・交流する場を提供するとともに、創造的な行動ができるスキルを持った人材を育成します。また、地域（住民）との交流機会を提供し、まちづくりの活性化を促します。 ・関わった参加者が、関係人口として継続して牟岐町に関わる仕組みを構築します。
○移住支援サポート	・U I J ターンなど移住に関する情報発信・相談、定住後のサポートを行います。
○牟岐ふるさと会（第二町民）の運営	・牟岐町出身者等の方の牟岐ふるさと会入会を促進し、交流と親睦を図り、お互いの経済、文化の発展を通して牟岐町の活性化を推進します。

【K P I】

- ・体験型観光の体験者数：1,000 人/年
- ・体験型観光の新規受入家庭：10 件/5 年
- ・関係人口（活動人口）の延べ人数：600 人/年
- ・1 週間以上の滞在をしながら活動を行った関係人口の人数：3 人/年
- ・関係人口と地域との交流事業の実施：3 事業/年
- ・移住の相談者数：5 人
- ・牟岐ふるさと会員総数 700 人を維持・ふるさと納税件数 30 件/5 年

1-2：定住の促進



■空き家の活用

- ・空き家等対策計画に基づき、空き家を町の「資源」と捉え、本町への定住者確保、移住者の受入れや交流者、関係人口の拡大に、町内の空き家等を有効活用します。

- ・空き家の適正管理や効果的な活用として、空き家バンクを運営し、空き家の有効活用を推進します。

■子育て世代の定住促進

- ・子育てしやすい環境づくりにおける条件整備として、空き家の活用も視野に入れながら、子育て世代向けの住宅のあっせん・家賃補助等に取り組みます。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○空き家バンクの運営	・所有者と利用希望者を仲介するきっかけづくりとして、空き家バンクの有効活用を推進します。
○空き家活用による交流・移住・定住人口の受入れ	・移住・定住の受け皿やイベント時等における一時的な滞在先として、民泊事業などによる活用を促進します。 ・空き家改修等支援事業として、空き家や家財処分の経費を補助します。
○子育て家族向けの定住促進住宅等の推進	・牟岐町で子育てに取組む若い世代が定住し、住み続けられる住環境を提供するために、空き家家等の活用を視野に入れながら、戸建て住宅の斡旋、改修費用の補助等を行います。

【K P I】

- ・空き家新規登録：2 件/年
- ・活用した空き家件数（延べ）：1 件/年
- ・空き家等の改修等件数：1 件/年
- ・子育て世代への空き家の斡旋：1 件/年

1-3：新規就業（農業・林業）の支援による移住促進



■新規就農と合せた移住促進

- ・新規就農者等が本町で暮らし、農業で生計を立てられるように、総合的な支援を行います。
- ・新たな特産品の開発と合せた新規就農者・後継者の確保や県と連携した就農支援の強化により、新たな担い手の就農と合せた移住を促進します。
- ・新規就農者や農業後継者、若い農業者が農業の技術を継承する場や機会への積極的な参加に対する支援を行います。

■林業への担い手育成と合せた移住促進

- ・里山での林業体験を通じて新たな担い手の拡大を目指します。
- ・森林環境譲与税などを活用した、人材育成と木材有効利用につながる取組を推進します。
- ・新規就業者に対する社会保険料等の助成により、林業で生計を立てる上での経済的負担

の軽減を図り、新たな担い手の林業への新規就業と合せた移住を促進します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○海部次世代園芸産地創生推進協議会（海部郡）の運営	・協議会の運営により、促成きゅうりの特産品開発を図るとともに、担い手として新規就農者を募集します。
○とくしま就農スタート研修の運営	・新規就農者に対するとくしま就農スタート研修の申請・指導農家のあっせん等による支援を行います。
○新規就農者等に対する講習会等への参加促進	・かいふ農協アグリサポート事業部が開催する新規就農者等に向けた講習会等への参加を積極的に支援します。
○林業の担い手育成の促進	・林業体験などのイベント事業と情報発信により、担い手の育成を支援します。
○優良林業事業体の育成支援	・林業への新規就業者への支援として、社会保険料等の助成を行います。 ・助成金額の拡大を検討します。

【K P I】

- ・新規就農者数：2人/5年
- ・とくしま就農スタート研修受講者 2人/年
- ・かいふ農協アグリサポート事業部の研修受講者数：1人/年
- ・林業担い手育成イベント：2回/年 参加者 50人/年
- ・新規就業者（林業）：2人/年

1-4:「関係人口」創出・拡大



■地域との多様な関わりの創出

- ・若者人材育成として、町内小中学生、牟岐町出身高校生、大学生に、町内外のよそ者目線を持つ大学生、社会人が、ふるさと学や牟岐町での将来ビジョンを描くことが出来るキャリア教育を実施する。このことにより、参加する関係者と継続した関係性を確立します。
- ・町内外の産官学が連携した取り組み事業を、牟岐町で実施し、継続した取組として進めることで、全国から関係者人口となる人材ネットワークの仕組みづくりに取り組みます。
- ・町内在住者、移住者、関係人口の若者を中心に牟岐みらいサミットを開催し、牟岐町の活性化や人口減少対策などを議論、実践する場を創出し、牟岐の持続可能な町づくりに取り組みます。

■「関係人口」創出・拡大のための環境整備

- ・関係人口の創出、拡大の環境整備として、案内所（コリビングラボ、宿泊の仕組み）案内人（中間支援団体、メンター団体）の仕組みを強化します。

■児童・生徒・学生を対象とした「関係人口」の創出・拡大

- ・児童・生徒を対象に関係機関と連携し、デュアルスクールなどを活用して、関係人口を拡大する仕組みづくりに取り組みます。

■民間人材の活用

- ・町内で実施される事業などに、専門的能力を有した民間人材を活用する取り組み推進します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○牟岐町内の小中学生に対するキャリア教育の実施	・地域教育団体と連携し、町内小中学生を中心にふるさと学、地域課題解決、将来ビジョンなどのキャリア教育を、町内外の協力者と実施します。
○牟岐町内外で、地域課題につながる若者の取組みへの支援	・地域課題の解決に繋がる高校生、大学生、若者、若者（学生）団体が実施する取組への支援を行います。
○牟岐町内外で、牟岐町出身者及び在住者、関係者人口が参加する交流事業を実施する	・地域課題解決に向けて、各関係団体との連携を図り、牟岐町内外での交流事業を実施し、関係人口の拡大・深化に繋がります。
○牟岐みらいサミットの実施	・町内在住者、移住者、関係人口の若者を中心に開催し、牟岐町の活性化や人口減少対策などを議論、実践する場を創出し、牟岐の持続可能な町づくりに取り組みます。

【K P I】

- ・町内小中学生へのキャリア教育支援事業の実施：2 事業/年
- ・地域課題につながる若者の取組支援：2 事業/年
- ・町内外での交流事業の実施：3 事業/年
- ・町外の連携関係団体数：1 団体/年
- ・牟岐みらいサミット（仮称）：1 回/年

1-5: 地方の暮らしの情報発信の強化



■地方居住推進の国民的な気運の醸成に向けた効果的な情報発信

- ・牟岐の自然環境と共存した地方生活の魅力について、メディア（アプリ、HP、広報、SNS等）などのツールを有効活用し、より効果的な情報発信を行います。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○メディアでの効果的な情報発信	・牟岐町内外の効果的な情報について取材し、情報発信します。ツールとなるアプリなどを効果的に活用し地域支援連携につなげます。

【K P I】

- ・町内外の情報発信件数：20 件/年

1-6: 大学づくり等による地域における若者の修学・就業の促進



■若者世代のU I Jターンや地元定着を促進するための取組の推進

- ・大学や若者（学生を含む）団体等と牟岐町内外で連携した事業を行い、地域課題解決に向けた取組を実施します。

■高等専門学校、専門学校等における実践的な職業教育の推進

- ・地域課題や地域産業界のニーズにあわせ、高等専門学校等の教育プログラムと連携した取組を推進します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○大学及び若者（学生）団体等との連携事業の推進	・大学及び若者（学生）団体等と牟岐町内外で連携事業を実施推進し、地域課題解決に向けた取組を実施します。
○高等専門学校等と連携した地域課題解決の推進	・牟岐町内の地域課題、地域資源のニーズを、高等専門学校等と連携して、課題解決、地域活性化の取組を推進します。

【K P I】

- ・大学との連携事業数：3 事業/年
- ・高等専門学校との連携事業数：1 事業/年

1-7: 地域おこし協力隊の拡充



■地域おこし協力隊の更なる拡充

- ・関係人口拡大のために、地域外から人の流れを呼び込み、関係人口となる取組を推進する関係案内人を募集します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○地域おこし協力隊の活動による地域活性化の推進	・人材教育及び伝統事業と観光体験をあわせた事業を実施し、牟岐町の魅力を伝える。あわせて、地域産品などの活用をおこない牟岐町ブランドとして育成します。

【K P I】

- ・地域おこし協力隊数：2 人/各年

1-8: 高校生への移住支援



■高校生への移住支援

- ・ 郡内唯一の県立海部高等学校の魅力化を支援し、郡外や県外からの海部高校第 3 寮への入寮生を受け入れ、寮生が安心して高校生活を送るためのサポート体制を整備するとともに地元食材を使った寮生への食事体制の整備を図ります。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○受入体制の整備	・ 寮生が安心して高校生活を送るためのサポート体制を整備するとともに地元食材を使った寮生への食事体制の整備を図ります。

【K P I】

・ 入寮生：17 人/年

基本目標（２）牟岐町で安心して働ける雇用の場をつくり、これを支える人材をつくる

数値目標 総合戦略に関連して創出した雇用件数：５年間で５０人

《基本的方向》

- ・牟岐町に実施してほしい雇用対策として、「民間企業の誘致」、「町内企業の育成」、「求人情報の提供」、「起業・創業の支援」が重視されています。これらを踏まえ、町内のビジネス環境の創出・充実を図ります。
- ・牟岐町内のビジネス環境の創出に向け、「牟岐町版エコノミックガーデニング（Economic Gardening）※¹」を実現し地域イノベーションを促進するためのオープンプラットホーム※²を構築し、若い世代の起業やスモールビジネスの起業を支援します。
- ・S o c i e t y 5.0※³による生産性向上と新たな産業創出を推進します。
- ・町内産業を牽引するリーダーの育成や企業の人材育成を支援し、仕事・雇用の創出に向けた人づくりに取組みます。
- ・本町の基幹産業である農林水産業の振興や農林水産物のブランド化に取り組むとともに、新たな特産品の開発を支援します。また、海外市場での需要開拓、地域内消費獲得の取組を推進し、もうかる農林水産業の確立を目指します。
- ・町全域での観光地経営を目指し、出羽島や大島、出羽島の歴史的資源などの本町の特徴的な観光資源を活かした体験型観光・着地型観光の振興のための環境整備・施設整備に取り組めます。

※¹：地域を「庭」、地域の中小企業を「植物」に見立て、地域の個性を活かして中小企業を大切に育てることにより、経済を活性化させる取組みのこと。

※²：異分野が持つ技術やアイデア、ノウハウ、知識などを組み合わせ、革新的な新機軸、新結合などを創造すること。

※³：すべての人やモノがつながり、情報知識が共有され、新たな価値を生み出し、膨大な情報を人工知能が解析しロボットなどをとおりて人間社会にフィードバックされる仕組み

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

2-1：中小企業が活躍できるビジネス環境の創出（エコノミックガーデニングの実現）



■牟岐町版エコノミックガーデニングの実現

- ・本町内の企業、事業者等が活力を持って経済活動に取り組むことができるビジネス環境を創出するため、エコノミックガーデニングの実現を実現し、地域イノベーションを促進するため、オープンプラットホームの取組を推進します。

■起業支援・企業誘致

- ・地域住民やU I J ターンの若い世代等が起業・創業する際の支援、地元事業者への就業支援を充実し、「選ばれるまちづくり」を目指します。
- ・地域事業について新たな担い手をマッチングし事業承継を推進するために、都市圏の人材と交流を進めます。

■町内企業の人材育成支援

- ・町内企業の育成、支援に取り組むとともに、地域の産業を牽引するリーダーや人材育成に努めます。
- ・インターンシップ等により、地元企業へのU I J ターン就業の機会拡大を推進します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○エコノミックガーデニング推進体制の構築	・牟岐町版エコノミックガーデニングの実現に向けた検討を行うとともに、推進体制の構築を行います。あわせて、地域イノベーションを促進するためにオープンプラットフォームを構築し、人材交流、共同プロジェクト等に向けたネットワーク形成を図ります。
○空き店舗のリフォーム促進支援	・町内の空き店舗の状況・実態・利活用の可能性等の調査を行うとともに、空き店舗等に対するニーズの把握に努めます。 ・空き店舗を活用して起業する方に対して、店舗の増築・改築・改修費用または家賃等の補助を検討します。
○起業・創業の支援	・国や県の補助事業（創業支援事業等）を活用しながら、企業の新規創業を支援します。
○企業誘致の推進	・県の補助事業や企業の地方拠点強化税制等の活用により、企業誘致やサテライトオフィスの誘致に努めます。
○企業立地への支援（奨励金）	・産業の振興と雇用機会の拡大を目指し、企業立地を促進するために、企業立地奨励金制度等の設立を検討します。
○産業リーダーの育成	・産業リーダーを育成するために、講習会等を開催します。 ・産業リーダーと町内企業との連携を促進します。
○U I J ターン促進のためインターンシップの推進	・インターンシップにより地域での生活・就業体験を促進します。
○都市部人材との交流の促進	・都市部人材との交流を実施し、地域課題に対しての担い手の確保を推進します。

【K P I】

・エコノミックガーデニング、オープンプラットフォーム推進組織の構築 ・空き店舗の活用件数：2 件/5 年 ・起業家への支援件数：1 人/5 年 ・民間企業の斡旋（誘致）数：1 件/年 ・奨励金制度の創設：1 制度/5 年 ・産業リーダー講習会の受講人数：5 人/年 ・地元企業への人材斡旋数：5 人/年 ・インターンシップ件数：2 人/年 ・都市部との交流事業数：2 件/年

2-2：もうかる農林水産業の推進



■農業への支援

- ・新規作物の開発と安定した生産体制、販売支援の取組を推進します。また、新規就農者・後継者の確保を強化するとともに、継続した農業経営プランを検討、実践のため、農業生産者を中心に推進団体を育成します。
- ・促成栽培による付加価値の高い農産物の生産や鳥獣害に負けない農産物の生産に取り組みます。

■林業への支援

- ・林業生産活動の促進や健全な山村地域社会の維持・形成を目指し、民有林の除間伐補助や主伐期まで育った森林の主伐への支援等を行います。
- ・山村地域での人材育成と資源の有効活用の取組を推進します。
- ・日本農業遺産に登録された「みなみ阿波の樵木林業システム」の取組を推進し、森林土壌の保水機能の向上、鳥獣被害の軽減を図りながら、薪炭技術の継承と牟岐町産備長炭の特産品化と観光資源としての活用に取り組みます。

■水産業への支援

- ・近年の漁獲量の減少を克服するため、資源管理と環境保全、再生の取組を進めます。
- ・大学等と連携しながら、新たな水産技術の導入を支援するなど、水産業の経営力向上に向けた取組を支援します。

■農林水産物の消費拡大

- ・既存施設や遊休施設の活用も含めて、農林水産物を身近に購入できる場を整備し、町内外に向けて農林水産物の消費拡大とPRにつなげていきます。
- ・海部高校第3寮において、地元食材を使った寮生への食事体制の整備を図ります。

■6次産業化等新たな取組への支援

- ・農林水産業従事者と地元企業、大学、その他関係機関との多様な連携を促し、6次産業化を促進します。また、商談会等による6次産業化商品等の販売拡大支援に取り組みます。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概要
○海部次世代園芸産地創生推進協議会（海部郡）の運営	・協議会の運営により、オクラ、菜の花の特産品開発を図るとともに、担い手として新規就農者を募集します。
○とくしま就農スタート研修の運営	・新規就農者に対するとくしま就農スタート研修の申請・指導農家のあっせん等による支援を行います。
○除間伐の補助（既存事業拡充）	・林業生産活動の促進、健全な山村地域社会の維持形成を図るための補助の拡充を図ります。

具体的な取組（事業）	概 要
○主伐の推進	・主伐期にまで充実してきた森林資源の活用、森林の更新のため、県の事業（主伐施業等支援事業 等）を活用しながら、主伐を推進します。
○山林地域の交流事業の推進	・山村地域での人材育成と資源の有効活用の取組を体験観光などにより実施し、交流人口、関係人口の拡大を推進します。
○浜の活力再生	・資源管理とあわせ、環境保全、再生に努めるとともに、地域ブランドの確立や持続可能な経営形態に取組みを地域一丸となって取り組みます。
○水産業の経営向上支援	・漁獲高向上に効果的な魚礁（浮魚礁）設置を推進します。
○直売所の整備検討	・地域の農林水産物の消費拡大に向け、農林水産物の地産地消の機会として、イベント販売、取扱店の拡大を推進します。
○遊休農地を利用した 6 次産業の推進	・6 次産業の実験・実践に取り組む事業者に対して、遊休農地のあっせん・貸し出し等の支援を行います。
○第 3 寮への食事提供	・海部高校第 3 寮において、地元食材を使った寮生への食事体制の整備を図ります。

【K P I】

- ・新規就農者数（再）：2 人/5 年
- ・とくしま就農スタート研修受講者数（再）：2 人/年
- ・森林の間伐面積：50ha/年
- ・主伐面積：10ha/年
- ・林業担い手育成イベント：2 回/年 参加者：50 人/年
- ・漁業の年間漁獲高 3 億円/年
- ・魚礁設置台数：2 台/5 年
- ・直売所・地産地消の機会の創出：3 回/年
- ・6 次産業化に関する実験取組件数：2 件/年
- ・第 3 寮食事提供の地元食材の活用日数：150 日/年

2-3：牟岐ブランドの確立



■牟岐ブランド商品の開発

- ・ハナエチゼン等、本町の特徴ある農産物のブランド化と安定販売を支援します。あわせて新規農産物の開発と付加価値向上に努めます。
- ・アオリイカやとこぶし等、本町の特徴ある水産物のブランド化を支援し、水産物への付加価値向上に努めます。
- ・備長炭等、本町の特徴ある林産物のブランド化を支援し、薪炭技術の継承と牟岐町産備長炭の特産品化に努めます。
- ・町内各地域が独自に育ててきた地域の産品で、牟岐町ブランドとした連携商品の開発を

推進します。

■都市圏へ向けたPR

- ・牟岐ブランドの魅力発信、認知度向上による販路拡大を目指して、都市圏に向けたPRに努めます。また、牟岐の農水産物の取り扱いやイベントポスターの掲示等牟岐町を応援していただく牟岐ふるさと応援店への登録・発掘を推進し、地元農水産物の販路拡大を推進します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○農産物のブランド化支援	・国の事業等を活用しながら、オクラ、菜の花の促成栽培による早期販売やネギの周年栽培を図る等、農産物の高付加価値化・ブランド化を支援します。 ・牟岐町産剣風米である「ハナエチゼン」の高付加価値化を目指し、早期米としての栽培を促進します。
○林産物のブランド化支援	・備長炭の薪炭技術の継承と特産品化を推進します。
○水産物のブランド化支援	・アオリイカ、アワビ、ウツボ、イセエビなどを、関係事業者と連携しながら提供し、水産物のブランド化を推進するとともに、地産地消の取組を推進します。
○新たな特産品の発掘	・牟岐町内の集落や各地域から、地域独自のおいしいもの・魅力あるものを再発掘し、新たな特産品やブランド化に向けた手がかりとしていきます。
○都市圏への牟岐ブランドPR	・都市圏や東京圏への販路拡大に向けて、アンテナショップ設置等をはじめとした効果的なPR方法を実施します。また、牟岐ふるさと応援店への登録・発掘を推進し、地元農水産物の販路拡大を推進します。

【KPI】

- ・オクラ促成栽培の作付面積：34a/年
- ・ハナエチゼン作付面積：512a/年
- ・水産物ブランド化品目数：2品/年
- ・新たな特産物：2品/年
- ・都市部での販売拡大イベント実績：6回/年
- ・牟岐ふるさと応援店登録：5店/年

2-4：観光の振興と産業としての確立



■体験型観光・着地型観光の推進

- ・体験型観光等の推進により、都市部住民や県外・町外住民との交流を促進するとともに、体験型観光等の町内外に向けたPR、受入れ体制の強化等に努めます。
- ・みなみ阿波観光局や四国南東部広域観光連携協議会、牟岐町観光協会と連携しながら、南阿波よくばり体験等の着地型観光を推進し、広域的な観光振興に努めます。

■観光振興のための環境整備

- ・観光案内板や公衆トイレ等、町内の観光振興に資する諸施設の整備・維持管理に努めます。また、公共施設跡地の有効活用も含めて、キャンプ場等の観光施設の整備に努めます。
- ・本町の農林水産物等、新鮮な食材やこれを活かした料理を提供する場を整備し、食の楽しみの創出を図ります。
- ・住みよい住環境づくりと町全域での観光地化の両立に向けて、地域の公園化・美化を推進します。

■島嶼・自然を活かした観光振興

- ・天体観測地、島嶼、ジオパークなどの魅力をはじめ、海・山・川の豊かな自然が揃った本町の観光資源を活用した、多様な魅力を提供する観光地域づくりに努めます。
- ・マリンスポーツ等、本町の自然を活かした観光プログラムの強化に努めるとともに、自然を楽しむだけでなく、豊かな食の楽しみや自然の豊かさや魅力を学ぶ環境学習の場としての充実を図るとともに、自然環境の保全活動につながる新たな観光プログラムの創出に努めます。

■イベントによる観光振興

- ・本町の歴史や文化を継承し、既存イベントの充実に取り組むとともに、イベントを活用した観光振興を目指します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○体験型観光（南阿波よくばり体験）の拡大	・県外からの修学旅行生の受入れ等による交流人口の拡大を目指し、南阿波よくばり体験観光事業のさらなる推進を図ります。 ・民泊事業の受入家庭の確保・育成に取り組めます。 ・徳島県南部で広域的な組織運営により、観光振興を推進します。
○町内の自然や観光資源を活かした観光振興	・関係機関連携・調整し、町内の自然や観光資源を活かした体験や観光ができるよう、プログラムやコースの検討、環境や施設の管理・整備等する。し、持続可能な観光振興を目指します。
○食を活かした観光振興	・モラスコむぎにおいて、自然環境などを活用し、関係機関と連携して、地元農林水産物を利用した食事を提供するなど、観光振興を推進します。
○牟岐町全域の公園化・美化の検討	・住みよい住環境の確保と観光地化の推進のため、町内各地区の公園化・美化を目指し、美化プランの策定等を検討します。 ・出羽島：重要伝統的建造物群保存地区の選定 ・内妻あじさい街道：エリア拡大と整備 ・サンライン海側：県有林部分の森林公園化 ・橘地区：五剣山・鬼ヶ岩屋等の登山道の整備 ・辺川地区：桜並木散策道の整備 ・笹見・西又：四季折々の花散歩道整備 ・牟岐川沿い：桜等の整備 の検討) ・町内：遍路道の整備

具体的な取組（事業）	概 要
○スターパーティー開催	・天体観測に適した環境を持つ沿岸部で望遠鏡や I T を用いた天体観測会の開催により町内外の交流促進、観光振興を行います。
○自然環境の保全・活用	・千年サンゴの保全活動として、サンゴ破損の原因となるオニヒトデの駆除に取組む等、自然環境の保全に努めます。 ・県や千年サンゴと活きるまちづくり協議会と連携し、千年サンゴの保全活動を展開するとともに、地域資源として観光振興等への活用を図ります。
○出羽島観光振興	・交流人口、関係人口の拡大を目指し、出羽島民を中心とした島らしさを伝える手段として観光振興を行います。あわせて、島の持続可能なコミュニティとの継続につながる取組を目指します。
○既存イベントの拡充	・牟岐マリンフェスティバル、内妻あじさい祭り、姫神祭、阿波踊り競演会、観光磯釣り大会等の既存イベントの継続と活性化・拡大を図ります。
○新規イベントの開催	・さらなる観光振興に向けて、周辺市町とも連携しながら新たなイベント開催を検討します。

【K P I】

- ・体験型観光の体験者数（再）：1,000 人/年
- ・体験型観光の新規受入家庭（再）：10 件/5 年
- ・町内周遊観光コース利用者数：200 人/年
- ・観光プログラムやコースの検討・整備件数：1 件/年
- ・観光設備の設置・修繕件数：3 件/年
- ・モラスコむぎ 食の提供日：10 日/年
- ・美化プランの作成：1 件（箇所）/年
- ・スターパーティー等イベント回数：2 件/年
- ・千年サンゴの保全活動と交流事業回数：4 回/年
- ・出羽島での観光事業実施件数：2 回/年
- ・既存イベント来場者数：800 人/2 日
- ・新規イベントの開催回数：1 件/年

2-5：教育機関・研究機関との連携による新たな仕事づくり



■教育機関・研究機関との連携

- ・阿南工業高等専門学校をはじめとして、大学や研究機関等との連携強化により、本町の特性を活かした新たな取組を推進します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○スターパーティー開催	・天体観測に適した環境を持つ沿岸部で望遠鏡や I T を用いた天体観測会の開催により町内外の交流促進、観光振興を行います。

【K P I】

- ・スターパーティー等イベント回数（再）：2回/年

2-6：「海外から稼ぐ」地方創生



■「海外から稼ぐ」地方創生

- ・海外で牟岐町の農林水産物や伝統工芸品など活用した需要開拓（アウトバウンド）と訪日外国人の地方への誘客による地域内消費の獲得（インバウンド）の取組を推進します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○町内資源の海外販売の推進と訪日外国人の観光客集客によるインバウンド促進	・海外で牟岐町の農林水産物や伝統工芸品など活用した需要開拓（アウトバウンド）と訪日外国人の地方への誘客による地域内消費の獲得（インバウンド）の取組を推進します。

【K P I】

- ・海外販売商品：2商品/5年
- ・インバウンド集客：50人/年

2-7：新しい産業の社会的課題に対応する地域経済社会システムの構築



■S o c i e t y 5.0による生産性向上と新たな産業創出

- ・テクノロジーを保有した近隣高専及び大学、企業などと牟岐町内の産業フィールドを活用した実証実験を実施します。

■農林水産業の成長産業化

- ・国内外での農林水産品の販路開拓と新規商品の掘り起こしを行う。また、物流事業での課題解決にむけた取組を進めます。

■農林漁業と商工業の連携を通じた地方創生の推進

- ・農林水産品を活用した地域商品と地域資源を活用した観光産業をあわせた連携事業を実施し、地域産業事業者が連携した地域ブランド商品の推進を行います。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○地域フィールドラボの実施	・技術、知識を保有した近隣高等学校及び大学、企業などと牟岐町内の産業フィールドを活用した実証実験を行い新たな産業の創出を目指します。
○農林水産品の販路開拓と新規商品拡大	・国内外で農林水産品の新たな販路開拓と、新規商品を開発します。

○地域連携商品開発	・農林水産業、商工観光業などの事業者が連携して新しいブランド商品を開発します。
-----------	---

【K P I】

- ・地域フィールドラボの実施：2 事業/5 年
- ・農林水産品の新商品開発と販路開拓：商品開発 2 商品/5 年 新規販路 2 箇所/5 年
- ・地域連携商品：2 事業/5 年

2-8：観光地域づくり・ブランディング等の推進



■古民家などの歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進

- ・町内の古民家、歴史的町並み、歴史的、文化的史実などのバックグラウンドと合わせた観光活性化事業を推進します。

■文化財等の総合的かつ計画的な保存・活用による地域活性化

- ・地域資源を掘り起こし、町内の各資源を連携させた、中長期的な総合活用計画の策定を目指します。

■地域におけるインバウンドに対応した新たな文化観光拠点の整備

- ・訪日外国人に向けた、効果的な歴史資源、文化資源を活用した観光拠点整備を進めるとともに訪日外国人来訪に向けた駐車場等の環境整備に取り組みます。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○歴史資源を活用した観光プランの実施	・重要伝統的建造物群保存地区に選定された出羽島を中心に、文化財修理修景事業で古民家等を改修することで歴史的町並みを保存するとともに、改修された建物を地域活性化に活用し観光など地域経済活動の取組を推進します。
○歴史、文化資源を活用した計画の策定	・牟岐町内の歴史的、文化的資源を効果的に活用した文化財保存活用地域計画を策定します。
○インバウンド対応した歴史、文化資源活用	・町内に歴史、文化資源を活用したインバウンドに向けた観光拠点整備に向けて駐車場等の環境整備に取り組みます。

【K P I】

- ・歴史資源活用観光プランの推進件数：1 件/年
- ・文化財修理修景事業等による古民家等の改修：2 棟/年
- ・文化財保存活用地域計画：1 件/5 年
- ・インバウンドに向けた観光拠点整備：1 件/5 年
- ・インバウンドに向けた環境整備：1 件/5 年

2-9：地方創生を担う人材・組織の育成



■公務員の地域での活躍の促進

- ・地方創生の取組を担う地方公務員の活躍の場を更に広げるため、地方公務員の副業、兼業を推進します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○公務員の地域での活躍促進	・ 公務員の活躍の場を広げるため、地方公務員の副業、兼業に関する実態等を調査し、更なる活躍のための環境整備を図ります。

【K P I】

- ・ 公務員の地域での活動提案：2 事業/5 年

基本目標（３） 結婚・出産・子育ての希望を叶え、誰もが活躍できる地域社会をつくる

数値目標 合計特殊出生率：５年後に 1.80 まで上昇

《基本的方向》

- ・結婚希望者への支援策として、「安定した雇用の供給」が重視されています。
また、子育てに重要なものとしても、「経済力」が最も重視されており、次いで「児童手当・医療費補助等の経済支援」、「小児科や病院」、「時間的なゆとり」、「子どもを好きという気持ち」が挙げられています。
- ・結婚・子育てともに、雇用の充実や経済的な安定が重視されていることから、出産・子育てにおける経済的支援を強化するとともに、「基本目標（２）牟岐町で安心して働ける雇用の場をつくる」とも連動しながら若い世代の就職支援・雇用拡大に取り組みます。
- ・若い世代の子育てを地域全体で応援するため、子どもの一時預かりや病児保育の充実、保育所保育の充実等、子育て支援策や保育サービスの強化に努めます。
- ・若い世代が安心して暮らし、結婚・出産・子育ての希望を叶えるため、関係機関や企業と連携しながら、就職支援や雇用拡大の支援、若い世代のワーク・ライフ・バランス※⁶の確保に取り組みます。
- ・婚活イベントの支援等による出会いの場の創出から、妊娠時の支援、子育て支援等、切れ目のない支援により、若い世代の結婚・出産・子育てを応援します。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

3-1：出会いの機会創出



■出会いの機会創出

- ・若い世代や独身者の結婚の希望をかなえるため、出会いの機会づくり・場づくりとして、婚活イベント等の多様な支援を行います。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○婚活イベントの支援	・海部郡婦人連合会等が開催する婚活イベントを積極的に支援します。また、参加者拡大を目指して、郡内市町村と連携して進めます。 ・マスメディアの活用等、婚活の効果的なPR方法を実施します。

【KPI】

- ・婚活の開催回数：1回/3年

3-2：子育て支援・保育サービスの強化



■療育の充実

- ・障がい児の健全な育成に向けて、近隣市町村、関係機関と連携したネットワークを形成し、子育て支援を実施します。

■若い世代の妊娠・出産・子育て支援

- ・妊娠・出産・子育て期まで切れ目のないサポートを行うために、伴走型の相談支援を充実させるとともに、ライフステージに応じた支援が受けられるよう体制を構築します。
- ・妊娠期から子育て期に至るまでの経済的負担軽減のため、不妊治療、妊産婦・乳幼児健診、予防接種費等を助成します。

■高校生への通学助成

- ・高校生への通学定期券購入費の一部を助成します。

【具体的な取組（事業）】

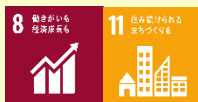
具体的な取組（事業）	概 要
○療育の充実	・障がい児の健全な育成に向けて、周辺市町村関係者、民間事業者が連携したネットワークを構築し療育支援体制を構築します。 ・療育に関する研修会や子育て教室を開催します。
○伴走型相談支援	・妊娠届出時の面談による情報提供や支援サービスの提供、助産師による電話相談や家庭訪問を行い、産前産後支援を実施します。
○妊産婦・乳幼児健診費用および予防接種費用の助成	・妊娠期から子育て期に至るまでの疾病予防、早期発見ができるよう妊産婦・乳幼児健診費用やインフルエンザ等の予防接種費用を助成します。
○不妊治療の支援	・保険適用後の治療費を助成することにより、妊娠を希望する人が不妊治療の開始や継続がしやすい環境を整えます。
○子育て相談、発達相談	・子どもの成長発達を保護者とともに確認し、正しい知識の普及と育児不安の軽減に努めます。また、必要に応じて専門機関と連携し子どもに合わせた関わり方や療育機関の利用など個々に合わせた支援を行います。
○高校生への通学助成	・高校生への通学定期券購入費の一部を助成することにより、義務教育終了後の進路の選択と保護者の経済的負担の軽減を図ります。

【K P I】

- ・療育機関ネットワークの設立 1 件/5 年
- ・助産師の相談の機会：5 件/年
- ・健診費用の助成：5 件/年
- ・予防接種費用の助成：200 件/年
- ・不妊治療の助成：1 件/年

- ・子育て相談、発達相談件数：5 件/年
- ・通学助成者：60 人／年

3-3：若い世代の雇用拡大



■若い世代の雇用拡大

- ・結婚、子育ての支援において住民のニーズが高い安定した雇用の確保・経済力の確保に向けて、関係機関や町内企業との連携を図りながら、就業支援や職のあっせん、企業の雇用拡大に取り組みます。
- ・町内在住高校生および海部高校第 3 寮生が地域に愛着を深めるために、地域産業や文化等に触れる機会を創出し、町内事業所等への雇用拡大に取り組みます。

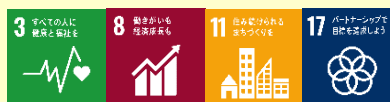
【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○関係機関と連携した就業支援	・牟岐公共職業安定所等の関係機関と連携し、地域住民、さらにはU I J ターンによる若い世代等に対して、効果的な求人情報の提供に努めます。 ・関東圏域からの移住支援制度と連携した、就業支援を推進します。
○雇用を増やす企業への支援	・国の制度（雇用促進税制 等）を活用しながら、一定の雇用者を増加させた事業主への支援を検討します。
○高校生の町内企業への就業支援	・寮生及び町内在住高校生が地域に愛着を深めるために、地域産業や文化等に触れる機会を創出し、町内事業所等への雇用拡大に取り組みます。

【K P I】

- ・求人情報の提供者数：50 人/年
- ・雇用を増やす企業支援数：2 社/年
- ・町内企業への就業者：1 人/年

3-4：仕事と子育てが両立する働き方の実現



■仕事と子育ての両立

- ・若い世代等、働く保護者が子育てと仕事を両立できるように、企業の理解を深めるための働きかけを行うとともに、子どもの預かり体制を強化します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○雇用情報提供実施	・子育てしやすい職場環境づくりに向けて、ハローワークなどと子育て世代に向けた雇用情報などの提供について協議し

	ます。
○関係機関と連携した働く子育て世代への対応	・働く子育て世代が不規則勤務時等においても子どもを預けられる環境づくりを目指します。

【K P I】

- ・雇用情報提供の機会：3件/年
- ・子育て環境機関：1件/5年

3-5：生涯活躍のまちの推進



■「生涯活躍のまち」の更なる推進に向けた支援等の強化

- ・中高年齢者が健康でアクティブな生活をおくるため、生涯活躍の町として多様なコミュニティで活動できる町を目指します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○生涯活躍の支援	・全世代が健康でアクティブな生活を送るため、生涯活躍の町として多様な取組を支援します。

【K P I】

- ・生涯活躍の取組：2件/年

3-6：女性、高齢者、障がい者、外国人等が共生するまちづくり



■ダイバーシティの実現

- ・誰もが交流できる多世代交流の場づくり、誰もが居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合うコミュニティづくりに向けた取組を総合的に推進します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○多様なコミュニティの支援	・多様なコミュニティづくり及び運営が安定的、継続的に図られるような取組を支援します。

【K P I】

- ・多様なコミュニティづくり：2件/5年

基本目標（４） 時代にあった地域をつくり、安全・安心な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携をつくる

数値目標 住み続けたいという住民の割合を高める：５年後に 75%（H27：69.3%）

《基本的方向》

- ・牟岐町の将来像としては、「健康・福祉のまち」が最も重視されています。この他、「快適住環境のまち」、「子育て・教育のまち」が重視されています。これらを踏まえ、包括的な医療・介護体制の強化に取り組むとともに、若い世代から高齢者までが住み続けられる住環境づくりを推進し、「保養と健康のまち・牟岐」の実現を目指します。また、スポーツ・健康まちづくりを推進し健康増進と地域経済の活性化に取り組みます。
- ・徳島県内だけでなく全国に向けて本町の存在感を高めていくため、本町の認知度向上策に重点的に取り組みます。また、本町を支える地域住民が主役となって地域づくりに取り組む環境を醸成します。
- ・安心な暮らしと快適な住環境のための基盤づくりとして、地震・津波等に対する防災対策、地域の交通対策等に取り組みます。
- ・将来にわたって必要な行政機能を維持するため、周辺市町村との広域連携・役割分担を進めていきます。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

4-1：牟岐町の抱える課題の解決への挑戦



■牟岐町の認知度向上

- ・地方創生を実現するためには、徳島県内だけでなく全国的に本町の認知度を向上し、様々な機会において「選ばれる」まちになる必要があります。そのため、シティプロモーションの考え方も導入しながら、本町の認知度を上げる施策を検討していきます。
- ・牟岐町出身者及び牟岐町の関係人口となった方々と継続した関係性を構築するため情報発信ツールなどを活用して地域課題解決に取り組みます。
- ・本町の認知度向上と合せて、本町を応援していただける人々の獲得を目指します。
- ・牟岐ふるさと応援サポーターを募集し、牟岐町の魅力・特産品・イベント・ふるさと応援店などの情報発信を担っていただき、特に町への貢献の多い方を牟岐ふるさと応援大使として任命するなど牟岐ふるさと応援サポーター制度に取り組みます。

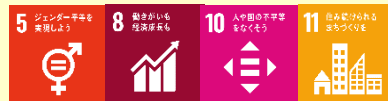
【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○魅力発信の充実	・牟岐町の魅力PRのために、町内情報を取材し情報発信を行う。あわせて、体験観光など、牟岐町をより楽しめる仕組みを関係機関と連携して実施します。
○寄付制度の拡充	・地域課題の解決のために支援していただける方々と連携し寄付を募る寄付金制度など拡充します。
○牟岐ふるさと応援サポーター	・牟岐町の魅力発信、特産品の利用・PR、イベントへの参加・協力、ふるさと応援店の利用・発掘などを担っていただき、特に町への貢献の多い方を牟岐ふるさと応援大使として任命します。

【K P I】

・情報発信件数：20 件/年 ・牟岐ふるさと応援サポーター：10 人/5 年 ・牟岐ふるさと応援大使：2 人/5 年 ・ふるさと納税の金額：450 件/年、10,000 千円/年
--

4-2：多様な人材が活躍する地域づくり



■多様な人材の活躍

- ・障がい者の地域での生活や社会参画を支える仕組みづくりに向けて、障がい者の雇用維持・拡大、環境の整備に努めます。

■牟岐で活躍する人づくり

- ・多様な学びの場、学びの機会を通して、様々な知識・スキルをもった町内外の住民の交流を促進し、主体性、協調性、多様性を持ち合わせた人材を育成することにより、直面する地域課題への糸口を考え実践できる地域の担い手の確保を目指します。
- ・本町を拠点とする NPO 団体等の地域づくり団体の活動を支援します。
- ・まちづくりには協働が不可欠であり、住民・行政職員ともに地域づくりへの意識を高めて、自らが主体となることを認識し、協働による取組を進めていきます。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○うみがめ作業所の活用	・海部郡内の障がい者雇用施設であるうみがめ作業所にて、障がい者の雇用を推進します。 ・作業所の受注業務の維持・拡大に努めるとともに、作業所にて製作している製品の開発、購入あっせんに努めます。

○多様な学びの場、機会による 人材交流・人材育成	・多様な価値観を持った人々が交流する場を提供し、主体性と協調性を養い、創造的な行動ができるスキルを持った人材を育成します。また、自分たちの町を知り、地域伝統や文化を学ぶことにより郷土愛を育みます。 ・関わった参加者が、関係人口として継続して牟岐町に関わる仕組みを構築します。
○地域づくり団体への支援	・地域づくりに関わる NPO 団体等の活動を支援します。

【K P I】

・うみがめ作業所の受注業務件数：1 件/通年 ・多様な学びでの交流人口：600 人/年 ・町内を拠点としたまちづくり活動団体の支援数：延べ 5 団体/5 年
--

4-3：持続可能なまちづくり



■災害に強い地域づくりと人づくり

- ・安心して住み続けられる住環境を守るため、避難路・避難場所の整備をはじめとした南海トラフ巨大地震対策の強化に努めます。
- ・災害発生時に備え、事前復興計画や避難計画の検討を進めるとともに、自主防災組織の活動支援や防災リーダーの育成を推進します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○避難路・避難場所の充実	・南海トラフ巨大地震等での被害が予測される地域に対して、安全な避難を実現するための自主防災組織と連携し避難路・避難場所の整備を図ります。
○事前復興計画の検討	・被災後の速やかな復興を図るため、徳島県復興指針に基づいた、事前復興計画の検討に取り組みます。
○地域ごとの避難計画の作成	・避難困難地域における円滑な避難を確保するために、避難困難地域ごとの避難計画の策定を推進します。
○自主防災・防災士の会活動の支援	・各地区自主防災組織及び防災士の会の支援、各種協議会の開催等、組織間の連携を推進します。 ・防災活動リーダーや担い手の育成を支援します。 ・各地区での防災訓練の実施を呼びかけます。
○住民の防災意識向上に向けた取組み	・住民の防災意識向上のため、避難訓練等の機会を捉えて、住民一人ひとりが自らの命は自分で守るという「自助」の考え方を周知するとともに、これまでの災害教訓の伝承等に努めるとともに防災訓練等の取組内容が充実するような支援を行います。 ・地域単位や学校単位での防災訓練等、住民が主体となり、町

	と連携しながら取り組む防災活動を促進します。
○非常通信手段の確保	・第2の通信手段として、低軌道衛星回線「スターリンク」等の新たな非常通信手段を役場庁舎、市宇ヶ丘学園に整備します。

【KPI】

- ・避難路整備件数：年1箇所/要望箇所
- ・事前復興計画の検討
- ・地域の避難計画策定：27地区/5年
- ・防災活動リーダー認定数：30人/5年
- ・全町地震津波避難訓練：1回/年
- ・市宇ヶ丘合同避難訓練：1回/年
- ・防災講習会等の開催：1回/年
- ・第2の非常通信手段の確保：2基/5年

4-4：既存ストックの活用



■既存ストックの活用

- ・町内の遊休施設（移転した旧海部病院の跡地や旧小学校等）の活用を図り、地域の再生・活性化、安全なまちづくりの実現につなげていきます。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○旧海部病院跡地の活用検討	・県や関係機関と連携しながら、旧海部病院跡地の有効活用を検討します。療養施設部分を海部高校の寮として活用していくことを支援し、その他施設についての有効活用を検討していきます。
○旧小学校（旧牟岐小・旧河内小）の活用検討	・旧小学校の有効活用として、関係機関や公共的団体等の利用促進を図ります。

【KPI】

- ・海部病院跡地の有効活用を検討
- ・旧牟岐小空き室の利用率：80%以上/年

4-5: S o c i t y 5.0 の実現に向けた技術の活用



■未来技術の活用に向けたデジタル人材の育成・確保

- ・人材確保について、協力者、関係団体と連携し外部人材の確保を検討します。
- ・スマートシティ、スマートアイランドの取組を目指します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○ S o c i t y 5.0 技術活用	・ S o c i t y 5.0 の実現に向けた技術の活用が、町内で実施している事業について活用可能であるかの検討を実施します。また、人材確保について、協力者、関係団体と連携し外部人材の確保を検討します。

【K P I】

- ・ S o c i t y 5.0 の技術活用件数：1 件/年

4-6: 健康まちづくりの推進



■健康増進イベント

- ・継続的な運動習慣を定着化させるために健康イベントを実施します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○健康増進イベントを通じた健康増進の促進	・徳島県立牟岐少年自然の家及び指定管理者と連携し施設の有効活用と指導支援を行い、健康増進イベントを実施し継続的な運動習慣の定着化につなげ、健康増進を進めます。

【K P I】

- ・健康増進につながる健康増進イベントの実施件数：1 件/年

4-7：地方創生SDGsの実施などの持続可能なまちづくり



■地方公共団体におけるSDGsの普及促進活動の展開

- ・牟岐町の持続可能なまちづくりのために、SDGsの取組を推進します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○SDGsの事業推進	・牟岐町が目指す持続可能なまちづくりに向けた取組としてモデル事業を実施し、推進事業の拡大を進めます。

【KPI】

- ・SDGsのモデル事業実施件数：1件/5年

4-8：コンパクト・プラス・ネットワークの本格的推進等



■コンパクト・プラス・ネットワークの本格的推進

- ・まちのコンパクト化と公共交通ネットワーク構想を横展開し、コンパクトシティの政策を強化します。
- ・先端技術を活用した地域課題解決に取組「スマートシティ」「スマートアイランド」などを推進します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○コンパクトシティプランの提案	・将来規模を考慮したコンパクトシティ構想を検討します。

【KPI】

- ・コンパクトシティ構想の提案

4-9：地域交通を取り巻く課題への対応



■地域公共交通の充実

- ・高齢化の進展に伴い今後増加すると考えられる交通弱者対策として、タクシー助成事業巡回バス等を検討します。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○交通弱者対策の推進	・高齢者等の交通弱者対策として、関係機関と連携しながら、新たな公共交通システム（モビリティサービスを含む）の導入を検討します。 ・地域公共交通会議などで検討します。

【K P I】

・交通弱者対策の計画検討

4-10：集落生活圏維持のため「小さな拠点」及び地域運営組織の形成



■地域運営組織の持続的な取組の支援

- ・地域運営組織の量的・質的向上を図ります。

【具体的な取組（事業）】

具体的な取組（事業）	概 要
○小さな拠点形成	・地域住民が主体となった地域運営組織の形成を進めるとともに、生活サービス機能の集約、確保、集落生活圏内がとの交通ネットワーク等による小さな拠点の形成を推進します。

【K P I】

・小さな拠点支援集落数：2件/5年

4 総合戦略の推進にあたって

牟岐町総合戦略は、本町のまち・ひと・しごとの創生に関わるあらゆる分野を総合的・包括的にとりまとめたものであり、本戦略の推進にあたっては、先行的・重点的に取り組むべき施策を明確にし、着実に施策を展開していく必要があります。そこで、次の取組について先行的、重点的に推進します。

1) 人材育成を核とした取組みの展開

そこで、「まちづくりはひとづくり」との観点から、「人材育成」を核として、地域が一体となって、本町の地方創生に向けて様々な取組への展開を図っていくこととします。

若者の人材循環を起点としたまちづくり

小中学生へのキャリア教育
高校生（海部高校第3寮を含む）へのキャリア教育
県内外大学生の町内フィールド活動
若者（社会人）の地域課題への取り組み
地域おこし協力隊の地域活動



教育系NPO
企業系NPO
ビジネス実践者
地元団体・有志
牟岐みらいサミット

様々な実践・挑戦

空き家活用
移住促進

農林水産業の
活性化

地域コミュニ
ティの維持

地域課題の解決
伝統文化の継承

等

地方創生へ向けた取組みの展開

2) 牟岐ふるさと会の取組みの展開

牟岐ふるさと会について

ふるさとから離れて暮らす牟岐町出身者の交流と親睦を図り、ふるさと牟岐町の郷土愛を育み、お互いの経済、文化の発展を推進することを目的とします。

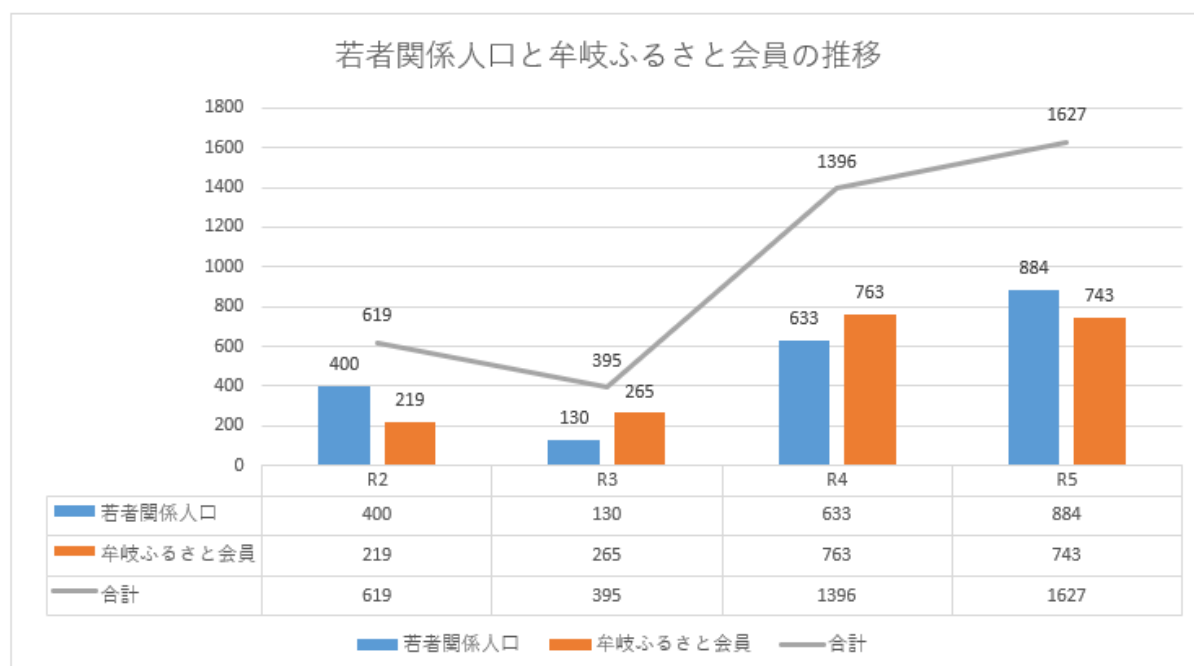
牟岐町出身者 ・ 交流、関係人口

- 牟岐町の町公式HPやイベントを通じて牟岐ふるさと会に入会を促します。
- 町内の同窓会などで紹介し入会を依頼します。
- 町外の牟岐町出身者活用させていただき、牟岐ふるさと会の説明と入会を促す書類を郵送で届けます。

牟岐ふるさと会（第2町民）

- 牟岐ふるさと会への牟岐町の情報を発信する情報ツールを整備します。
 - ・町公式HP、HP(MUGIZINE)、SNS (Line、instagramなど)、故郷むぎ(ふるさと会会報誌)
- 牟岐ふるさと会の方々が、牟岐町に訪れたときにメリットとなる受入体制を整備します。
- 牟岐ふるさと会の方々が活躍していることを取材し、情報発信ツールで紹介することで交流活動につなげます。
- 全国で、牟岐ふるさと会の方々と交流するために、牟岐の日イベントを開催します。
 - ・牟岐の日（関西で2回/年、関東で1回/年、とくしま県の店4回/年）、親睦交流会（1回/年）
 - ・この機会に、活動に対する意見交換と交流、情報交換の交流会を開催する。
- 牟岐町の活性化のため、全国で活性化事業の共同実施をします。
 - ・牟岐ふるさと応援店

（参考）若者関係人口と牟岐ふるさと会員の推移



3) 協働による総合戦略の推進

地方創生の実現に向けては、住民、地域、団体、事業者、行政等が牟岐町人口ビジョン及び牟岐町総合戦略に掲げた目標等を共有した上で、各主体がお互いの考え方や立場を理解し、主体間で協働・連携して課題解決に向けた活動を行っていくことが重要です。

以下に、牟岐町総合戦略を推進するにあたり、各主体が担うべき役割を示します。

住 民	自らが暮らし続けるまちをより良いものにするため、サービスの受け手としてだけでなく、「まちづくりの担い手」として主体的に学び、各種活動に積極的に参加し、自ら行動を起こしていきます。
地 域	自治会をはじめとする地域団体は、住民のつながりやコミュニティ意識の強化等に取り組むとともに、地域間で連携しつつも切磋琢磨しながら、地域の魅力を向上していきます。
団 体	地域活動団体やNPO法人、ボランティア団体等は、新たな公共の担い手として、互いの責任と役割を担いながら、住民や組織間で連携して多様な取組みを展開していきます。
事業者	事業活動を通じて地域産業・経済の活性化に貢献するとともに、雇用の創出を図り、より暮らしやすい地域社会の実現に寄与していきます。 また、まちづくりを担う一員として、各種事業への協力等により、本町のまちづくりへ参加していきます。
行 政	牟岐町総合戦略に基づき地域性のある施策を展開し、その進捗を適切に管理しながら目標の達成を目指すとともに、職員一人ひとりがまちづくりの先導役として、各主体の活動の補佐、主体間のネットワークづくりや協働の支援等に取り組みます。 また、地方創生や総合戦略等に関する情報発信の強化や意見交換、学びの機会等の充実を図ります。

4) 地域間連携の強化

牟岐町総合戦略により地方創生を実現するため、国や徳島県の総合戦略と継続的な連携を図るとともに、国や県の各種制度を積極的に活用し、効率的かつ円滑な施策・事業の推進を図ります。

また、観光、交流、情報発信、人材育成等、周辺市町や県内外の市町村等との地域間の広域連携による相乗効果が期待される分野については、積極的に連携を図りながら取組を進めます。

5) 検証組織による目標達成状況の検証

牟岐町総合戦略の実効性を確保していくため、本戦略の検証体制を整備し、PDCAサイクルを確立します。戦略の検証にあたっては、本戦略立案時に開催した産・官・学・勤・労・言及び住民代表等による有識者会議のような検証組織を設置し、数値目標や重要業績評価指標（KPI）の達成状況を検証し、必要に応じて総合戦略の改訂を行います。